

■ グループ紹介

株式会社 関西テック

1. 沿革

当社は、1940年、山田電気工業株式会社の社名で資本金19万円の電気工事会社として、大阪府池田市に産声を上げました。爾来、戦時中の企業整備統合令による大打撃、戦後の人・物・金の不足にも耐え、苦節50有余年、経営の多角化に努めて参りました。途中1968年には『関西電急商事株式会社』、1981年に現行の『株式会社関西テック』と社名を変更しましたが、関西電力ならびに阪急電鉄の両親会社、また、ご愛顧を賜りましたお客様の変わらぬご支援によりまして、今日ここに在るを得ております。

2. 会社概要

1. 資本金 7億8千6百万円
2. 資本系列 関西電力株式会社
阪急電鉄株式会社
3. 社員 1600人(平成6年3月末)
4. 売上高 915億円(平成5年度)
5. 事業所 本店 (大阪市北区中之島
6丁目2-27)
支店 10(近畿, 中部一円)
支社 1(川崎市)
工場 1(大阪市)
総合技術センター 1(大阪市)
総合教育センター 1(高槻市)

3. 事業内容

電気工事に源を発する当社は、電気工事はもとより多種にわたる建設工事、石油・電気機器販売、運送、電気絶縁油の製造販売、植物バイオに至るまで、広い分野に事業展開しております。特に親会社である関西電力関連では、電源部門から流通部門の末端に至る凡ての分野で、保守修繕を初め、各種の設備工事を分担させていただいております。また、日立製作所外メー

カー代理店としての電気機器の販売、発電所でご使用になる燃料油の自社ならびに備船による国内運搬等も手掛けております。そのほか一般のお客様関係ではF・A(ファクトリー・オートメーション)、S・E(システム・エンジニアリング)等を含む電気工事全般、冷暖房・衛生から緑化工事等の建設関連工事、機器販売等を実施させて頂いております。

また大阪市内に、高級絶縁油製造の全自動化工場を有し、「サンオーム」の商品名で、電気メーカーを初め、電力会社各位に納入いたしております。

4. 研究開発

事業として手掛けているさまざまな分野の技術を組合せての研究開発を行っております。

研究開発は得られた成果が事業展開につながるばかりでなく、その幾多の先端技術が会社信用のバックボーンとなり、はたまた人材育成面上でも大きな効果を発揮いたします。従いまして、当社の主要事業が建設業であるにもかかわらず、思い切った研究開発が行なわれております。

先年創立50周年を記念して大型(総床面積5,000㎡)の総合技術センターの完成を見、研究設備・陣容も一新いたしました。現在、化学・電気・機械・植物等の100名に近い専門技術者がテーマを定めて研究開発に勤しんでおります。



総合技術センター外観

5. むすび

当社の社是とする所は「誠実と努力」であり、過去の数限りないターニングポイントにおける経営判断もこの理念に裏打ちされて、前進が図られて参りました。

現代社会を支え、リードして行く電気に関連する事業を社業の中心に据え、今後とも変転する社会と時代のニーズに、社名のとおり、技術をもってお応えして参ることを念願といたしております。

(文責：専務取締役 林 泰夫)

海外行事ごあんない

「パイプラインの侵食に関する 講演会と見本市」について

■ 開催趣旨 ■

最近の研究によれば、過去10年間の事故の50%以上が有害物質を搬送するパイプラインの侵食に関係することが明らかになった。この割合は、内外を問わず例外ではない。侵食に対しては、外面や内面に対するコーティングを始め陰極防食法などの各種武器により、微生物や化学的腐食に対処している。

この講演会では、最新の侵食防止技術に関する24件の講演が予定されている。

- <会 期> 1994年10月17日(月)～19日(水)
- <会 場> Marriot Houston Westside, ヒューストン(米国テキサス州)
- <共 催> パイプライン工業会および国際パイプおよびパイプライン連盟
- <問い合わせ先>

Ms. Cheryl Smith/c/o The Pipeline Corrosion Conference and Exhibition/Gulf Publishing Company/Book Division/P. O. Box 2608, /Houston, Texas 77252-2608, /U. S. A